



会長 小林 幹夫 青少年奉仕 橋本八右衛門
副会長 道尻 誠助 幹事 正部家光彦
クラブ奉仕 道尻 誠助 会計 佐々木泰宏
会長エレクト 紺野 広 会場監督 峯 正一
職業奉仕 妻神 和憲 直前会長 小井田和哉
社会奉仕 地代所久恭 副幹事 松本 剛典
国際奉仕 中村 稔彦 会計補佐 山村 和芳

例会日 毎週水曜日 12:30 例会場 八戸グランドホテル
事務所 八戸市番町14 八戸グランドホテル内
電話 (43) 0608 FAX (43) 0661
e-mail rc8@vc.hi-net.ne.jp
http://hachinohe-rotary.org/
会報・広報委員長 峯 正一 同副委員長 荒谷 達也
同委員 廣田 茂 同委員 道尻 誠助

国際ロータリーのテーマ — 2022~23 — 八戸ロータリークラブのテーマ
イマジン ロータリー ロータリーの力を信じよう!

国際ロータリー会長 ジェニファー・ジョーンズ

八戸ロータリークラブ会長 小林 幹夫

2月 は 平和と紛争予防／紛争解決月間です

第3255回例会 2023.1.11

▶ ビジター 清川 浩幸さん、久保田幸造さん
(八戸南)

会長要件 小林 幹夫 会長



2023年新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。

昨年7月から八戸ロータリークラブ会長を仰せつかっておりますが、ちょうど半年経ちました。今年の6月まで残り半分もよろしくお願ひいたします。

昨年末の八戸ロータリークラブのクリスマス例会はわたしが急遽欠席してしまい、まことに皆さんにご迷惑をおかけしました。いわゆる流行り病に罹ってしまひ、皆さんがクリスマス例会をやっているときに39度の熱が出ておりました。翌日病院に行き、薬等々をもらって熱は下がりましたが、ちょっとだけ喉が痛いのが年内残りましたが、今は全快しています。来週の新年例会はリベンジの夜間例会になります。

今年はわが八戸ロータリークラブから実に

14年ぶりに、村井達さん以来のガバナーを輩出する年です。ガバナーエレクトの築館智大さんは今現在アメリカ、フロリダ州オーランドで国際協議会に参加して、ロータリーについてさまざま学んでいる最中ではないかと思ひます。今はこの国際協議会も一部はインターネットで公開されていて、RIのホームページを見るとそのようすが写真、動画、現在進行形で見る事ができます。今年の7月からRI会長になるRI会長エレクト、ゴードン・マッキナリーさんの会長テーマもyoutubeで公開されています。本来なら築館さんから皆さんに報告するのですが、わたしはインターネットを見た手前、そのテーマだけ口頭でお教えしようかなと思ひています。

次年度RI会長テーマは「世界に希望を生み出そう」。会長エレクトの言葉の一部ですが、わたしたちの目標は破壊的な紛争から世界が立ち直れるように希望を取り戻すことです。そうすれば、わたしたち自身のために持続可能は変化をもたらすことが可能となります。ロータリー活動もウクライナの問題に正面からきちんと取り組まなければならないということ意識した発言、テーマではないか

と思っています。詳しいことは築館さんが帰ってきたときにお話を聞ければと思っています。

八戸南RC 久保田幸造さん



明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

きょうは八戸南クラブ会長の清川と参っていますが、わたしからお話しさせていただきます。すでにご存じかと思いますが、当南ロータリークラブでは、職業奉仕、社会奉仕クラブ主催の元に、よろず相談を行っています。期日は2月4日(土)です。これは医療、法律、税務などさまざまな問題について市民の方から相談を受け、当クラブメンバーの専門家がお答えをするものです。これらの法律相談等については別な役所でも行っておりますが、当クラブで相談を受けた方の感想をお聞きしますと、気楽にこれていい。という話も伺っています。

きょうお伺いしたのは、皆様の企業なりでポスターを掲示いただければと思っています。例会終了後にご持参いただければと思いますので、宜しく申し上げます。

乾杯：小林幹夫会長

新年のスタートにあたり、皆さんと共に杯を交わし、さらに楽しいロータリーライフをこれから過ごしていきたいと思っています。八戸ロータリーの更なる発展と飛躍を祈念しまして乾杯！

幹事報告 正部家光彦 幹事



○ロータリーレートのお知らせ
1月1日より、1ドル=132円
○2021-2022年度成田秀治直前ガバナーより、2021-22年度年次報告書が届きました。

○来週は新年例会で夜例会です。

再来週は職場訪問例会で、松本剛典さんの会社の訪問です。

○例会後に理事会がありますので、理事の皆さんはお集まりください。

委員会報告

親睦・会場委員会

増田 敏委員

○ニコニコボックスの報告



- ・誕生祝 今 彰夫 (前回)
夏川戸 斉・奈良全洋
佐々木泰宏さん
- ・奥様誕生祝 平戸昭彦さん
- ・結婚記念日 小林幹夫
小田山紀暢・石橋敏文さん

久保田幸造 } 本日はよろしく申し上げます。
清川浩幸さん }

永澤 信さん 水曜会で表彰いただきありがとうございました！

・・ 明けましておめでとうございます ・・
赤澤栄治・小井田和哉・道尻誠助・広瀬知明
妻神和憲・石橋信雄・橋本八右衛門さん
渡辺 孝・中村稔彦さん ニコニコデー

奈良全洋さん



新年おめでとうございます。
本年もよろしく申し上げます。

きょうは皆様のメールボックスにお知らせを入れさせていただきました。NTTで年に1回東京で行っておりますソリューションフォーラムというイベントのご案内です。このイベントはオンラインでも参加することが可能です。このちらしはオンラインの参加登録のちらしです。

このイベントはNTTが各官公庁、地方自治体、企業と取り組んでいるITを活用したDX化の事例などをさまざまご紹介させていただいています。スマート農業、業務のDX化、遠隔医療などのオンラインで参加できる展示会です。今、ITの世界がどういうふうになっているかが、この展示会を見ていただければ一目でわかると思います。お時間のある方は1月24日～26日の間、事前にQRコードで登録いただければ無料でご覧いただけま

すので、ぜひご活用いただきたいと思います。

お勧めセミナーは1月26日に「本格プログラマーとアンドロイド第一人者が語るテクノロジーの未来」。これはすごい有名な二人です。登大遊さんはNTT社員ですが、筑波大から引き抜いた、その世界では有名な人です。これを1回見て名前を憶えておくといいかもしれないです。

ロータリーの友委員会担当例会

深澤 隆委員長



明けましておめでとうございます。今年もよろしく願いいたします。

ロータリーの友1月号について、今月は職業奉仕月間です、それに合わせたテーマ、内容です。

ロータリーの友は創刊70周年の投稿が横組みに載っています。70周年となるとかなり長い間ロータリーの友が発刊されてから歴史が経つということがわかりいただけます。その70年に寄せたお祝いのご挨拶、ジェニファー・ジョーンズRI会長からのお祝いのご挨拶、ロータリーの友を通じてさらに会員の増強を図るようというお話が載っています。ロータリーの友を宣伝に使うやり方もあるのかなということを感じました。



P30 バックナンバーで迎える友70年

1990年からのことが書いてあります。特集としてはかなりページを割いていて10ページ以上になっています。面白いと思うのは、その時々の世相、ロータリーの友の歴史的動き、大規模災害、事件など世相を反映することも書いてあり、それに合わせたロータリーの友の歴史が編纂されている形になっています。ひじょうに分かりやすいので、振り返るに当たっては年表みたいな形で読みやすいのかなと思います。

トップは1990年ロシアにロータリークラブ

が結成された。今、ロシアのロータリークラブはどうなっているかわかりませんが、そういう歴史を含めて書かれているページが特集号に掲載されています。

横組み 職業奉仕月間の特集として、わたしのプライド その仕事。さまざまな職種の方が書いています。あなたが作っているものは何ですか？ それぞれ色紙にその答えと顔写真が載っています。実際にものを作るというより、それ以外にも思いを作る、環境を作るなど。

実際にいろいろな業種があることを再確認すると共に、それぞれの方が作っているものは何ですか？ 医薬品製造業ユースキンの野渡さんの掲げる色紙には「潤い」。レール圧接業の方のコメントには「Have a nice day」。子供の靴輸入品代理店の方のコメントは「ぬくもり」。ガス供給は「信頼・安全」、法律関係は「日中間の双方向性の法律サービス」、歯科医師は「安心」、獣医は「動物たちの幸せ」、環境に関係するお仕事の方は「動力、活力、環境」。サービス業に関してはそういう言葉が飛び交っています。

皆さんの職場でも何か作っているものは？ という質問に対して、色紙1枚でどんなことばを書くのかなと気にしていました。小林会長は？ 「信頼」です。そういう意味で皆さんも掲げたりすると面白いかと思います。それぞれの方の職業的背景、ことばの意味を含めてご確認いただければと思っています。

P22 第51回ロータリー研究会、日本人の方とRI会長と一緒に写っていますが、11月後半にRI会長が日本にいらして、第51回ロータリー研究会が神戸で開催されたそうです。参加者は60名で、その当時のようすが写真付きでさまざま紹介しています。取り組みとしては面白い取り組みで、分科会も書いてあります。今後当地区でもこのような取り組みや勉強に関しては、こういった取り組みを参考に実践できればと思います。

P26 10月24日世界ポリオデー 当クラブはなかなか活動できませんでしたが、全国的に見るとポリオデーにはかなり大きなイベント

をやっている感じでした。ちょうどこの時期は7～8波の間くらいで、ちょうどやりやすい時期だったのかな。このようなさまざまなところでテントを張ったり、街頭活動でポリオ撲滅活動を全国のロータリアンはやったことが紹介されています。来年度の当地区の活動に生かされればという内容が載っています。

- 米山関係：ラオスの第2の都市のチャンパサックに以前、東京府中R Cに米山奨学生として留学されていた方の現在の活動の紹介。
- food for ソート：おいしい生活のためのヒント。今回もお菓子業の方の投稿。
- 縦組み：職業奉仕に関連しての記事 日経新聞コメンテーター村山恵一さんの投稿。人間とAIが共生する職業の近未来の形。村山さんは山形出身、東北大卒後ハーバード大、シリコンバレーにいた相当のスペシャリストです。どの業界に至ってもAI、ACT、ACTソリューションを含めてそういった関りに全く関係のない業界はない。記事も理路整然と本当にわかりやすくAIについて書かれています。

AIが重要視されているけれども、やはり人間が大事ということが結果的に書かれています。実際に汎用人工知能ということで人間の機能がいつになるとAIがとって変わるか、というアンケート。23人の世界的に有名なスペシャリストのうち18人が回答した結果を平均すると2099年～2200年とけっこう幅があります。AIが完全にとってかわる世界は、専門家においてもひじょうに幅がある、考え方がさまざまあることの結果だと思えます。それに関して、今後わたしたちが取り組まなければいけないこと、考えなければいけないことは自動化、個の時代、メタバース、DEI。そういった意味でもロータリークラブに関しても、個々に関しても、AIとの付き合いに関して一回考えるためにも振り返る意味で、この記事はひじょうの有効になるかもしれません。人間自体が試される時代。あくまでもAIはツールであることを前提にそれぞれの人間がどう考え、それをどう使うかというところに集約される。個々の自体、人間自身も

成長していかなければいけないことがうまくまとまっています。

縦組みP9 今回の記事で一番面白いと思ったのは この人を尋ねて 坂口茂樹さんという方です。この方はフォント。毛筆体が世の中に数あるうちの最初に作り上げた人のトップランナーで鹿児島県のロータリアンです。鬼滅の刃の登場人物が紹介されるテロップのフォントとしてこの会社を作っているフォント。フォントはパソコンの書体で、それを作っている会社の社長さんの記事です。鹿児島の田舎にある会社ですが、それでフォントで日本だけでなく世界的にも有名な会社だそうです。

毛筆体作り上げられるまでの歴史、この会社の成り立ちなど。親子三代でやっている、元々は看板会社。看板会社の再起をかけてお父さんが字が上手かったので初代のお爺さんの特徴のある文字を一つ一つ、投稿した息子さんがスキャナーに取り込んでそれをフォント化する地道な作業をやっている会社です。看板業から毛筆を売り出す会社になり、世界的に有名な会社です。

P14 柳壇 当クラブの道尻誠助さんの作品が掲載されています。

道尻誠助さん：去年古希になったので、70歳の手習いでダジャレを深めようと思いました。正部家さんがやたらと品の高いダジャレを言うようになったので、わたしはこれはかなわないと思って辞めました。それで川柳を始めました。去年の5月頃に1作目を出しました。もちろん没だと思っていましたが、

8月号 ばあさんと 湿布貼りあい

古希祝う

本当は背中見せあいとしたかったのですが。

12月号 秋に家の前の田んぼにスズメがたくさんきます。犬がきたり、人がくるとばあーっと飛んでいくようすを詠んでみました。

群れスズメ 風を追いかけ 稲穂波

1月号 お歳暮でりんごを送る時期なのでりんごを詠みました。

りんごもぎ 小鳥の分は 枝先に

これからも投稿いただければと思います。道尻さんの句が載っているかどうかを確かめてからロータリーの友を読むようになればいいのではと思います。

友愛の広場 も含めて各クラブの取り組みが書いてあります。

P20 錦鯉のようなものは地下道への入り口の屋根のようです。新潟のこのクラブは錦鯉で有名なところらしく、こんなものが町中にドカンとあったら驚くだろうなと思いました。この地下道の入り口、錦鯉をこのクラブで清掃したという記事でした。

今回はロータリーの友1月号のご紹介でした。

3分間スピーチ



夏川戸 斉さん

プロジェクターのスクリーンが“床”になっている商品をご紹介します。駅や空港のトイレや出入口などの案内板です。これは100ボルトの電源があれば、タブレットでイメージのものを入れることができます。ひじょうに簡単にできますし、床に置くだけです。レイアウトの変更があった場合はその場所に移動することができます。

あるワクチン会場に導入された例です。このケースの場合は3台のテラスガイドを使っています。あるビルの管理するものをつなげると、例えばコロナの場合、前が混雑している場合は自動的にストップ、入場禁止をすることもできます。皆さんお目にかかったことがない商品かと思いましたが紹介しました。



ZEB(ゼブ)はNet Zero Energy Buildingゼロエネルギービルという略称です。これは建物で使うエネルギーを省エネして、エネルギーを減らして、その減らしても足りないエネルギーは作ってエネルギーをゼロにしましょうというものです。これはSDGsやカー

ボンニュートラル、国の方針で〇〇年までにCO₂の排出をゼロにするというものに関連して、国が進めているもので、補助金も出ます。

このエネルギーの元と使っているものの分類は環境省HPのコピーです。いつでもどなたでもご覧いただけます。エネルギーの元は電気、ガス、熱があり、それを使うものに対しては給湯、照明、換気扇、空調があります。そういうものを省エネしてエネルギーを減らしましょう。

エネルギーをゼロにすることが難しいということもあり、ゼブにも種類があります。エネルギーを作るのはほとんどが太陽光です。太陽光で作った電気で賄って、自社のものに供給して電気を使いましょうというのがゼブです。ぜんぶを消費できない、あるいは足りないといった場合のためにnealy ZEB(ニアリーゼブ)、ZEB ready(ゼブレディー)が用意されています。これは省エネで普通であれば、Aビルが100%だった場合、ゼブレディーというのであれば50%のエネルギーで賄いましょう、というものです。

今後どんどん日本全国でこういうビルが建ってきています。三菱電機ではこれに使う設備、エネルギー側ではなく消費するほうの商品をたくさん作っていますので、こういう形でやっています。このほかにZEH(ゼッチ)はゼロエネルギーホームです。住宅も今後そういうふうになっていきます。そうやって国全体でCO₂を削減していきましょう。

三菱電機では実証棟を作りました。これはZWBの実証棟です。予約制ですが皆さんいつでも見学ができます。これは作ったエネルギーのほうが消費するビルのエネルギーよりも多いという建物です。ぜひ皆さんのところでも何かありましたら、今後ご検討いただければと思います。ただ設備だけではなく、サッシ、建材なども省エネ性の高いものを使うことにはなりますが、かなりの補助金も出ます。ぜひ企業イメージアップにもつながりますので、ぜひご検討いただければと思います。



平戸昭彦さん

新年早々恐縮ですが、電気料金値上げのお話をさせていただきたいと思えます。皆さんは報道などでご承知かと思

いますが、東北電力は昨年11月24日に経産大臣に小売規制料金の値上げを申請させていただきました。本日はその概要をかいつまんでお話しさせていただきます。

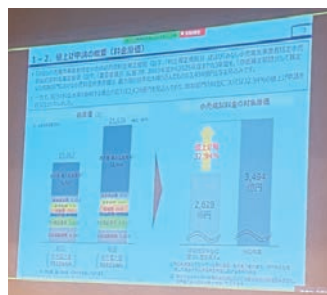
今回値上げ申請の対象となるのは低圧規制部門です。対象的には低圧のお客様の約8割のところ対象になります。例えば従量電灯B灯〇A、低圧電力などのお客様です。この規制部門の料金の値上げになりますと、わたし共は勝手に料金を値上げすることはできません。国の認可が必要になります。その認可を得るために今回、総原価を全て洗い出してその原価に基づいて申請させていただいた次第です。震災後2013年1兆5,000億円から総原価を洗い替えしたところ、2兆1,600億円になりました。ほぼほぼ増えたのは燃料費です。今回、規制部門の内訳の値上げ幅が32.94%。電気料金値上げ設定ということで、恐縮ですが基本料金もうちょっと上げさせていただき、アワー料金、電力量料金はだいたい1KWあたり10円くらい上げさせていただきます。

その背景は2021年、2022年に福島県沖で地震があり、その影響で弊社の火力発電所が軒並み被災しました。その関係でその修繕、あるいはその足りなくなった電力を外部から調達しました。約2年分の貿易統計実績の推移

をみますと、LNGが最大で5.2倍、石炭は7倍の値段になっています。

卸電力取引場という市場があり、そこで電気の売買をしています。その値段が近年ひじょうに高くなっています。ここから調達する新電力がひじょうに厳しい状況です。2021年度に産業用のお客様に販売させていただいた収支が13円レベルでしたが、これよりも調達額が大きくなっています。燃料費の調整制度に伴う調整額の推移を見ますと、これは上限が決まっています、昨年6月にすでに上限に達しています。この差は電気事業者が負担しています。わたし共の収支状況は2021年度、2022年度は赤字の見通しです。2022年度は2,000億の赤字を予想しています。

そういうところを踏まえ、昨今物価がひじょうに高くなっている中で、皆様にご負担をさらにおかけするところで、わたし共としても苦渋の決断でありましたが、安定的な燃料調達、電力設備の更新、修繕に投資を十分できなくなる恐れがあるということで、今回の値上げ申請にいたった次第です。本当にたいへん申し訳ございませんが、この辺の事情をご理解いただきまして、何とかお願いしたいと思っています。新年早々たいへん申し訳ない話で恐縮ですが、よろしくお願ひします。



出席報告						出席委員会		
第3255回例会（1月11日）			第3253回例会（12月14日）					
出席率		70.0%	出席率		66.7%	修正出席率	73.3%	
総会員数		61名	出席数		42名	総会員数		
			総会員数		61名	メイクアップした人数		
出席義務会員		60名	出席免除会員		1名	欠席数		
			欠席数		18名	出席義務会員名		
			出席免除会員名			出席免除会員名		
			欠席数			欠席数		
						16名		

—— 第3256回 新年 例会 2023.1.18 ——

新年会は1月18日午後6時30分から会員43名出席でグランドサンピア八戸で行われました。例会は松本副幹事の司会で会長要件、幹事報告、そして築館ガバナーエレクトから国際協議会（米国フロリダ州オーランド）出席のお土産話が披露されました。

懇親会では岡崎親睦・会場委員長の司会により会長挨拶、道尻副会長の乾杯の発声で始

まりました。

アトラクションの変わりではありませんが年男の抱負ということで紺野、平戸、増田、妻神、山村会員と5人の会員からユーモアあふれる抱負などが語られました。

中締めは鶴飼会員の発声でおひらきとなりました。



—— 第3257回 職 場 訪 問 例 会 2023.1.25 ——

職場訪問は10年ぶりとなる寒さきびしい日でしたが会員40名出席で松本会員の㈱ヤサカで行われました。例会は会長要件、幹事報告そして職業奉仕委員長の挨拶と続きました。

その後、松本社長から会社の概要の説明などがあり、会員は2班に分かれて見学・説明を受けました。

